

横浜市仲町台地区センター 指定管理者事業計画書																							
申込年月日 令和3年7月12日																							
団体名	特定非営利活動法人 つづき区民交流協会																						
代表者名	萩野 幸男	設立年月日	平成17年4月6日																				
団体所在地	横浜市都筑区茅ヶ崎中央29-5 森ビル204																						
電話番号	045-942-5516	FAX番号	045-942-6416																				
沿革	<p>区内地区センター等を運営していた「都筑区区民利用施設協会」の業務を引き継ぎ都筑区の地域づくりや担い手づくりを目指して地域の方々により設立されたNPOです。</p> <p>1 都筑区区民利用施設協会設立 (平成7年4月) これまで施設ごとに運営委員会に委託していた業務を一元化し、横浜市が設立しました。</p> <p>2 特定非営利活動法人つづき区民交流協会設立 (平成17年4月) 指定管理者制度の導入にあわせて区民利用施設協会を引き継ぎ、地域の方々により、NPO法人を設立しました。</p> <p>3 特定非営利活動法人の認定を取得 (平成25年12月) 活動実績が評価され、市内地区センター運営組織としては唯一法人への寄附金が税控除の対象となる「認定NPO法人」を取得しました。</p> <p>4 つづき区民交流協会理事会の構成</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">役職等</th> <th colspan="2">役職等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>理事長</td> <td>地区連合町内会長</td> <td>理事</td> <td>前区更生保護女性会会长</td> </tr> <tr> <td>副理事長</td> <td>区社会福祉協議会会长、前区連合町内会長</td> <td>理事</td> <td>元区民交流協会事務局長</td> </tr> <tr> <td>理事</td> <td>区青少年指導員連絡協議会会长</td> <td>監事</td> <td>横浜市退職小学校長会幹事</td> </tr> <tr> <td>理事</td> <td>区主任児童委員連絡協議会会长</td> <td>監事</td> <td>地区連合町内会長</td> </tr> </tbody> </table>			役職等		役職等		理事長	地区連合町内会長	理事	前区更生保護女性会会长	副理事長	区社会福祉協議会会长、前区連合町内会長	理事	元区民交流協会事務局長	理事	区青少年指導員連絡協議会会长	監事	横浜市退職小学校長会幹事	理事	区主任児童委員連絡協議会会长	監事	地区連合町内会長
役職等		役職等																					
理事長	地区連合町内会長	理事	前区更生保護女性会会长																				
副理事長	区社会福祉協議会会长、前区連合町内会長	理事	元区民交流協会事務局長																				
理事	区青少年指導員連絡協議会会长	監事	横浜市退職小学校長会幹事																				
理事	区主任児童委員連絡協議会会长	監事	地区連合町内会長																				
業務内容	<p>当法人の使命である、「施設運営を通してひと・情報・地域をつなぐ」を基本として、法人の経営方針に掲げる「地域活動拠点としての居場所づくり」、「地域連携によるまちづくり」、「将来にわたる持続可能な施設運営」に取り組みます。また、NPO法人としてのノウハウを活用して、都筑区運営方針（以下「方針」という）、第4期都筑区地域福祉保健計画（以下「計画」という）等の目標実現に向けて貢献します。</p> <p>1 区内14施設を受託運営 仲町台地区センターを始め「地区センター3館」、「スポーツ会館2館」、「学校併設型コミュニティハウス7館」、「都筑多文化・青少年交流プラザ」、「鴨池公園こどもログハウス」の合計14施設を受託運営しています。</p> <p>2 横浜市・都筑区等との連携事業 青少年が地域とつながり、社会参加を通して成功体験を積み重ね、自己肯定感を持つきっかけとなる『はあとdeボランティア』事業を区役所から受託して実施しています。 令和2年度から、区役所、市こども青少年局と都筑多文化・青少年交流プラザ、区内の4地区センターが連携し、青少年が安心して過ごすことのできる居場所づくりを目指し、青少年を見守る事業を実施しています。</p> <p>3 区防災計画への参画 区と災害時協定を締結し、「帰宅困難者一時滞在施設」、「福祉避難所」の指定を受けて、避難者受け入れ訓練を年1回実施しています。</p>																						
担当者 連絡先	氏名	[REDACTED]	所属	[REDACTED]																			
	電話	[REDACTED]	FAX	[REDACTED]																			
	E-mail	[REDACTED]																					

(1) 応募団体のこと

- ア 応募団体の経営方針、業務概要、主要業務、特色等について
- イ 応募団体の業務における仲町台地区センター指定管理業務の位置づけ
- ウ 応募団体が行った公の施設その他類似施設の管理運営に関する主な実績

ア 応募団体の経営方針、業務概要、主要業務、特色等について

1 経営方針

(1) 「地域活動拠点としての居場所づくり」(方針「施策1・2」、計画「推進の柱1・2・3」)

施設運営を通して誰にとっても心地よい居場所づくりと世代間交流に取り組み、利用者や団体、地域が出会い、互いに支えあい、分かちあう、誰もが地域で安心して暮らせるまちづくりを目指します。

(2) 「地域連携によるまちづくり」(方針「施策1・2・4」、計画「推進の柱1・2・3」)

区役所や関係団体等と連携して、子育てやまちづくり、防災・減災等の地域の課題解決に取り組み、地域の人材の発掘やコーディネートに努めます。

(3) 「将来にわたる持続可能な施設運営」(方針「正確・迅速・丁寧な業務の執行」)

施設運営でのコスト削減やさまざまな増収策を図り、安定した経営基盤を築き、利用者へのサービス向上に取り組みます。

2 業務概要、主要業務、特色等

(1) 【新規】地域連携による青少年の見守り事業 令和2年度から都筑区役所、市こども青少年局と都筑多文化・青少年交流プラザ、区内の4地区センターが連携し、青少年が安心して過ごすとのできる居場所づくりを目指すとともに、青少年を見守る事業に取り組んでいます。

(2) 【新規】専任の地域コーディネーターの配置 令和4年度から当法人に常勤で専任の「地域コーディネーター（館長級）」を配置します。地域コーディネーターは各施設を支援して施設職員とともに、地域とのつながりをより一層深め、地域のニーズを把握して、住民へのサービス提供や地域活動の拡充に結び付けていきます。

(3) 地域の方々により設立されたNPO法人 当法人は都筑区の地域づくりや担い手づくりを目指して、地域の方々が自ら設立したNPO法人です。役員・職員の9割が都筑区民であり、地域の特性をよく知り、地域と一体となった施設運営、事業展開を行っています。

イ 応募団体の業務における仲町台地区センター指定管理業務の位置づけ

- 1 活動拠点として地域住民の健康で豊かな生活を支援(方針施策1-⑦⑧,2-⑥⑦) 子育て世代、小中高生、高齢者の居場所としての場の提供や団体活動の支援、健康維持や生涯学習を支援します。
- 2 地域のつなぎ役として地域の活性化、安心安全なまちづくりを推進(計画1-2、2-2-1,2、3-2-1) 地域連携の促進、世代間交流をはかり、支え合う地域づくり、ふるさと意識の醸成につなげます。

ウ 応募団体が行った公の施設その他類似施設の管理運営に関する主な実績

施設名	市区名	開始年月	業務区分	施設名	市区名	開始年月	業務区分
中川西地区センター	横浜市都筑区	H18.4	指定管理	中川中コミュニティハウス	横浜市都筑区	H18.4	業務委託
仲町台地区センター		H18.4	指定管理	勝田小コミュニティハウス		H18.4	業務委託
北山田地区センター		H23.4	指定管理	川和小コミュニティハウス		H18.4	業務委託
東山田スポーツ会館		H18.4	指定管理	都田小コミュニティハウス		H18.4	業務委託
大熊スポーツ会館		H18.4	指定管理	北山田小コミュニティハウス		H18.4	業務委託
鴨池公園こどもログハウス		H18.4	指定管理	つづきの丘小コミュニティハウス		H18.4	業務委託
都筑多文化・青少年交流プラザ		H19.12	業務委託	東山田中コミュニティハウス		H18.4	業務委託
計 14 施設							

(2) 仲町台地区センター管理運営業務の基本方針について

- ア 設置目的、区政運営上の位置づけ
- イ 地域特性、地域ニーズ
- ウ 公の施設としての管理

ア 設置目的、区政運営上の位置づけ

1 地区センター条例 地域住民が、自らの生活環境の向上のために自主的に活動し、活動等を通じて相互の交流を深める場としての施設設置目的の実現を図ります。

2 区制運営上の位置づけ 都筑区運営方針、第4期都筑区地域福祉保健計画等の目標実現に向けて貢献します。

イ 地域特性、地域ニーズ

仲町台駅周辺の新興住宅地域と南部に広がる農専地域が隣接するエリアであり、魅力ある地域資源にも恵まれ、子育て世帯、中高生、高齢者も多い地域です。

地域特性

- 1 施設近隣では転入者も多く、地域とのつながりが薄い子育て世帯や小中学生も多い。
- 2 南部の農専地区、かちだ地区では高齢化が進み、シニアマンションなどもある。
- 3 地域活動への参画希望者が多く、魅力ある企業、お店、農地、公園、施設などに恵まれている。

地域ニーズの反映

- 
- 1 子育て支援、青少年の見守り・居場所づくり、世代間交流を推進します。(方針施策1-⑦, ⑧、2-①、計画2-2-1, 2、2-3-2)
 - 2 高齢者の生きがいや健康維持、仲間づくりの場を提供します。(方針施策2-⑥, ⑦、計画2-2-2、2-3-1, 3)
 - 3 地域資源を生かした講座の開催や地域の繋がりを強化し、支えあい、活気あふれるまちづくりを促進します。(方針施策1-⑦、3-②、計画2-2-1, 2、3-2-1)

ウ 公の施設としての管理

1 施設の公平な利用

公の施設として、全ての地域の方に平等で公平な施設運営を行います。利用方法等を窓口、パンフレット、ウェブサイト（ホームページ）等で分かりやすく伝え公平な利用を推進します。

2 インターネット予約導入

インターネットでの予約を導入しており、予約のための来館が不要になりました。また、インターネットを使わない方も窓口・電話で予約できるため、誰もが公平、簡潔に予約できます。(方針施策1-⑦、計画3-1-1)

3 アクセシビリティに配慮した情報発信

ウェブサイト等のインターネットを利用した情報発信では、高齢者や障害がある方なども容易に情報が得られるよう、「JIS規格のウェブサイトアクセシビリティのAA（ダブルA）を取得」しています。

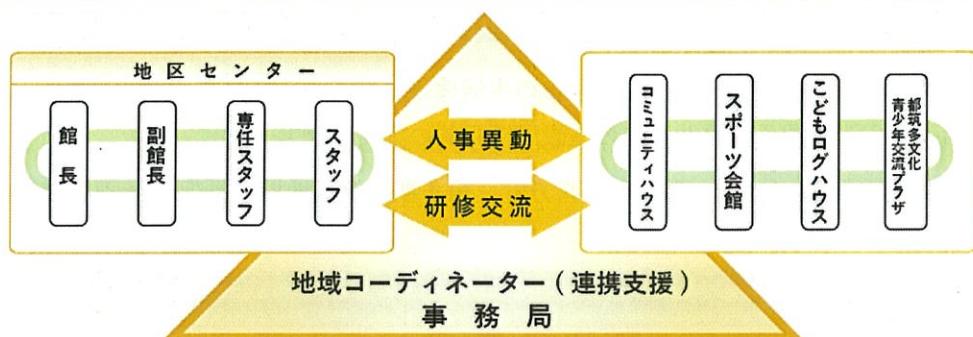
当法人は市内の地区センター運営組織で唯一のアクセシビリティAAの取得者です。(地区センター等指定管理業務仕様書9-（3）-オ)さらに、外国人の方も利用しやすいよう、利用案内や施設案内の英語表記や、「やさしい日本語表記」を進めます。(方針施策2-⑦、⑧、計画1-3-1)

4 誰もが快適に利用できるように

高齢者や障害のある方、外国人、こども等、誰もが公平で快適に利用できるよう「人権啓発研修」、「障害者差別解消推進研修」、「窓口サービス研修」等を全職員が受講し、日々の業務に活かしています。(方針施策1-③、2-⑦, ⑧、計画1-3-1、2-2-3)

5 災害時の公の施設としての機能

災害の発生時、帰宅困難者一時滞在場所、福祉避難所として施設を開放します。(再掲)また、区役所と連携しながら防災・減災講座を開催して、災害に対する知識・準備の重要性を地域住民と共有し、災害に強いまちづくりに努めます。(方針施策4-①, ②)

(3) 組織体制**ア 管理運営に必要な組織、人員体制****1 管理運営に必要な組織**

- (1) 14施設間での連携** 当法人が運営する14施設間での人事異動や合同研修等が可能になり、多様な経験による人材育成と組織力のアップが図れます。また、施設館長会を毎月開催することにより、区内全域を網羅する情報収集や意見交換を行い、各施設でのサービス向上に役立てます。
- (2) 地域コーディネーターの支援** 新たに事務局に配置する「地域コーディネーター（館長級）」が各施設を支援することにより、地域とのつながりをより一層深め、地域のニーズを把握して、住民へのサービス提供や地域活動の拡充に結び付けていくことができます。(再掲)
- (3) 職員等の9割以上が区内在住者** 職員、スタッフは、地域での活動経験者が多く、的確に地域のニーズが把握でき、地域の実情に合った地域課題への対応が可能です。(再掲)

2 人員体制**(1) 職員体制**

職種	人数	業務概要	必要な職能・資格	勤務体制
館長	1名	施設管理責任者、事務統括責任者、地域連携、区役所連絡調整	マネジメント経験、防火管理者取得、普通救命講習終了	常勤 (5勤2休)
副館長	1名	館長補佐、経理事務、一般庶務、自主事業企画、広報	地域活動経験、普通救命講習終了、パソコンスキル	常勤 (5勤2休)
専任スタッフ	2名	一般庶務、自主事業企画、広報	地域活動経験、普通救命講習終了、パソコンスキル	非常勤 (週3~4日)
スタッフ	12名	受付案内・自主事業補助、図書管理、広報補助、館内整備	地域活動経験、普通救命講習終了、パソコンスキル	非常勤 (週3~4日)

※協会内には有資格者が多数所属し活躍している。(社会教育主事、司書、保育士、幼稚園教諭、介護支援専門員、情報処理技術者、建築物環境衛生管理技術者、木造建築物組立等作業主任者等)

- (2) 職員等配置の考え方** 従来の館長1名（常勤）、副館長2名（常勤）体制から、館長1名（常勤）、副館長1名（常勤）、専任スタッフ2名（非常勤）の体制に変更して、人件費の縮減を図ります。専任スタッフは、一般庶務や自主事業の企画・広報の補佐等を担い、将来の副館長候補としての人材育成を行います。

(3) 職員等勤務体制

	時間	9:00			13:00		17:00		21:00
開館時間	12 時間								
利用時間	3 時間		午前	午後①	午後②		夜間		
館長・副館長 専任スタッフ	7 時間			早番1~2名					
スタッフ	4 時間		午前2名		午後2名		夜間2名		
1日の人員体制			3~4名体制		4~6名体制		3~4名体制		

(3) 組織体制**イ 個人情報保護等の体制と研修計画****1 個人情報保護等の体制について**

(1) 法令、市条例の遵守 「個人情報の保護に関する法律」、「横浜市個人情報の保護に関する条例」及び基本協定における「個人情報取扱特記事項」を遵守徹底いたします。

法令等に基づき「個人情報保護規程」を設けており、事務局長を個人情報保護管理者として、個人情報保護研修を年1回、全職員を対象に実施します。また、理事を個人情報保護監査責任者として、年に1回各施設の定期監査を行います。更に、特定個人情報（マイナンバー情報）については、事務局長を情報管理者として、取扱者、取扱場所、保管場所を限定し、取得・廃棄管理を徹底します。

(2) 具体的な取り組み 個人情報保護方針の施設内掲示、利用目的の施設利用申込書等への明示、苦情・相談窓口のウェブへの掲載を行います。個人情報記載書類の保管場所の限定、廃棄書類のシュレッダー処理、電子記録媒体の物理的破壊処理を行います。U S B・ファイル交換ソフトの使用、パソコンの持出を禁止します。

(3) コンプライアンス推進委員会 社会を構成する法人として、「コンプライアンス推進委員会」を設置し、法令等を遵守して高い倫理性を保つとともに社会的な要請に応えていきます。

2 研修計画

(1) 研修の積極的推進 職員の育成・スキルアップ、施設運営への参画意識推進、人権感覚の研磨、施設と地域の連携、危機管理への対応等を目的として、全体研修、職種階層別、担当別の研修をきめ細かく実施します。また、毎月のスタッフ会議で利用者対応・サービス向上等についてワークショップ形式の研修を行い、当事者意識を持って考える機会とします。

研修区分	研修内容	回数	参加対象者
全体研修	個人情報保護研修	年1回	全員
	人権啓発研修	年1回	全員
	危機管理研修	年1回	全員
	普通救命講習	3年毎	全員
	スタッフ研修	年1回	全スタッフ
階層別・担当別研修	新入スタッフ研修	年1回	全新入スタッフ
	コンプライアンス研修	年1回	館長
	コーディネーター研修	年1回	館長・副館長 専任・希望スタッフ
	ホームページ研修	年1回	館長・副館長 専任・担当スタッフ
	図書研修	年1回	館長・副館長 専任・担当スタッフ
	次世代育成研修	年1回	副館長・専任スタッフ 館長推薦スタッフ
	自主事業企画研修	随時	副館長・専任スタッフ
青少年支援研修		年4回	館長・副館長・スタッフ

※障害者差別解消推進研修、メンタルヘルス研修、健康危機管理研修も隨時実施

(3) 組織体制**ウ 緊急時の体制と対応計画****1 基本的な考え方、予防策**

(1) 危機管理対応マニュアル 横浜市防災計画、都筑区防災計画や災害時協定等に基づき「危機管理対応マニュアル」を整備しております。平常時の防犯、防災・減災、事故防止から発災時の対応等に備えています。

(2) 防犯、防災・減災、事故防止への取り組み

ア 繰り返しの訓練実施 利用者の安全確保が最優先と考え、災害等に迅速に対応できるよう、年2回以上の防災訓練を行っています。また、区との災害時協定に基づき、区と連携して「帰宅困難者一時滞在施設」、「福祉避難所」として避難者受入れ訓練を年1回実施しています。(再掲)

イ 施設設備の故障、事故、犯罪等の予防策 利用者への気持ちよい対応は、施設内のトラブル減少にもっとも効果的だと考え、日頃から職員が意識して、利用者へのあいさつや声掛けを実践しています。また、定期的巡回点検(午前・午後・夜間各1回以上実施)、施設設備点検(毎日)を行い、施設の安全管理と清潔の保持に努めています。

ウ 警察署との連携 都筑警察署生活安全課との連携で夜間を中心として、適宜、警察官が巡回パトロールに来所します。

エ 災害に強いまちづくり 施設のみならず地域住民の意識向上とつながりにより、被害を小さく抑えることができるよう、防災・減災講座を開催し、災害に強いまちづくりに取り組みます。

2 事故・災害等の緊急時の体制、具体的対応計画

(1) 緊急時の体制 震度5強以上の地震等の広域災害発生時は、当法人事務局に「危機管理本部」を設置し、事務局長を本部長に、施設長との緊密な連携のもとに情報を一元化する体制を整えています。開館・閉館時を問わず施設に直ちに駆けつける5人一組の「初動班」を構築しています。職員、スタッフの9割が徒歩圏内に居住しているため、公共交通機関が停止した場合も迅速に参集することができます。情報の受伝達では、緊急連絡網を電話、携帯、メール、LINE等、複数の手段で確保しています。

(2) 具体的対応計画 危機管理対応マニュアルに基づいて訓練や研修を実施し、不測の事態に備えて迅速で的確な対応ができるように研鑽を積んでいます。

具 体 策

- ・館長は防火管理者講習を受講・選任、全職員は3年に一度普通救命講習を受講し緊急時に備えています。
- ・AED、水・乾パン・簡易トイレ・毛布・マスク等を備蓄しています。
- ・閉館中も防犯・火災・ガス漏れを機械警備が監視し、施設賠償責任保険に加入しています。
- ・通報連絡班・初期消火班・避難誘導班・応急救護班に分けた自衛消防体制を整えています。
- ・ヒヤリハット発生時、業務日誌やスタッフ会議で気づきの共有を行います。またヒヤリハット集として管理し、過去の事例からも同様の事故防止に努めています。

消火栓の確認

(4) 施設の運営計画

- ア 設置理念を実現する運営内容
イ 利用促進策

ア 設置理念を実現する運営内容

当法人の方針である「**地域活動拠点としての居場所づくり**」「**地域連携によるまちづくり**」に基づき、**地域コーディネーターとともに**、地域コミュニティの醸成と地域連携を促進します。

1 地域住民の自主的な活動を応援 登録団体が交流を深め、活動の成果を実感して楽しく活動の継続ができるよう、まつりや作品展示等の発表の場を積極的に提供します。また、新しい仲間づくりのために、掲示板、センターだより、ウェブ等で活動メンバー募集のサポートを行います。さらに、地域のイベント等では、広報活動の協力や備品の貸出、人的支援などの後方支援も行います

2 地域で顔の見える関係づくりと共に支える連携体制を構築 地域、企業、お店、学校、施設、活動団体などと連携し、より住みやすいまちづくりを目指して「親子スタンプラリー」、「まちづくりイベント」、「放課後イベント」、「こどもまつり」、「センターまつり」などの事業を開催します。

3 地域で支える連携体制 日々の会話等から小さな異変に気付き、大きな問題を未然に防ぐための青少年の見守り事業に、行政、都筑多文化・青少年交流プラザと連携して取り組みます。(再掲)

イ 利用促進策

1 現在の利用状況

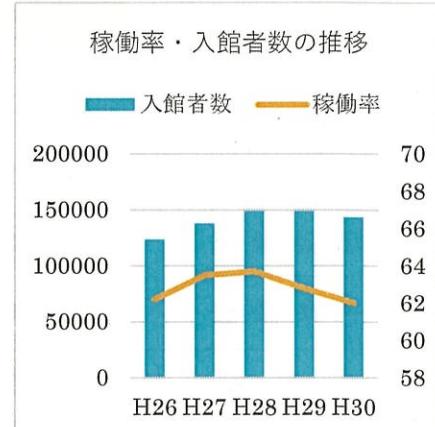
(1) インターネット予約を導入し、部屋予約が簡略になりました。当法人が運営する**3地区センター共通の団体登録制導入**により、相互利用を可能にし、利用促進につなげています。

(2) 少子・超高齢化、女性の就労化にともない、幼児の利用が減少し、幼児向け自主事業の参加者も減少していますが、就学までの切れ間のない事業を進めています。

(3) 個人利用の登録数は増加して利用者も増え、空き部屋が効率的に利用されています。料理室の稼働率には課題がありますが、会議室としての利用（他の部屋が満室に限り半額で利用）も促進されています。

2 利用促進策

- (1) 自主事業から事後会団体の立ち上げ、自主的な団体活動にスムースに移行できるようにサポートします。特に、料理室の有効利用のために、料理の講座も企画していきます。
- (2) 和室の稼働率を上げるために、高齢者にも使いやすいように、イスとテーブルを増設します。
- (3) Wi-Fi の拡充で、インターネットを使った活動をしやすくします。
- (4) 緑化や放課後イベント、こどもまつり、センターまつり等のボランティアを募集し、多くの方に地区センターに関わっていただき、愛着を持っていただきます。
- (5) 団体の活動の体験会などを開催し、団体の活性化、仲間づくりのサポートをします。
- (6) ロビーを有効利用するためにゆったりと安心して利用できるイスとテーブルを配置し、夜の照明も明るくします。



(4) 施設の運営計画

ウ 利用料金の設定について

1 料金設定の考え方

快適な空間を提供して利用率アップ

電灯の増設や修繕、必要な備品の購入など、利用者にとって安全・安心かつ快適な利用が重要と考えます。清掃・消毒など利用者のニーズに応えるためにも、利用料金は現行の料金設定を継続します。

会議室が満室でも利用できるように、料理室を会議利用に開放しています。その場合は、ガス、水道等料理室機能を使用しないため、小会議室と同程度の料金として、半額の2時間320円での利用とします。

暗くてボールが見えにくいとのご指摘
もあった体育室照明をLEDに交換



2 各部屋、時間帯ごとの料金表

仲町台地区センター利用料金

料金表 室名	平日（午前、午後A・B、夜間） 日・祝日（午前、午後A）	日・祝日（午後C）	延長（1時間）
小会議室	480円／3時間	320円／2時間	160円
中会議室	1,080円／3時間	720円／2時間	360円
工芸室	690円／3時間	460円／2時間	230円
和室1	450円／3時間	300円／2時間	150円
和室2	450円／3時間	300円／2時間	150円
料理室	料理利用 640円／2時間	640円／2時間	320円
	料理以外 320円／2時間	320円／2時間	160円
体育室	1,890円／3時間（全面）		
	1,260円／3時間（2/3面）		
	630円／3時間（1/3面）		

(4) 施設の運営計画

- エ 利用者ニーズの把握と運営への反映**
オ 利用者サービス向上の取組
カ ニーズ対応費の使途について

エ 利用者ニーズの把握と運営への反映

- 【利用アンケート】年2回
- 【自主事業アンケート】随時
- 【センター委員会】年1回以上
- 【利用者会議】年1回以上、説明が必要な新規事業開始時
- 【ご意見箱】館内1か所
- 【報告書ご意見記入欄】部屋利用ごとに設置
- 【声掛け】毎日

1 利用者ニーズの把握 様々な広聴手段により、利用者からの意見、要望、苦情を把握します。

2 運営への反映 把握した意見、要望はスタッフ会議、館長会等で検討して運営に反映させます。また、指定管理者での判断が難しい場合は区と協議します。

日々の会話や利用報告書に記入された意見・要望や苦情、お褒めの言葉も全て「意見・要望一覧表」で管理し、スタッフ全員で共有し、今後の対応に活かします。

「ご意見への回答」を館内掲示し、ウェブでも対応策を回答します。

オ 利用者サービス向上の取組**1 ネット利用・環境の充実**

- (1) ロビーに加え、各室でのWi-Fi接続を可能にし、インターネットを活用した活動が展開できるようにします。また災害時の情報収集が容易にできる環境を整えます。(再掲)
- (2) インターネット予約システムの改良や予約方法など利用者からの要望を把握し、さらに使いやすくするための改善に取り組みます。
- (3) オンライン会議や自主事業ができるインターネット環境を整えます。これにより、地域団体との情報交換や連携、住民の気軽な参加を促進します。

リサイクル本コーナーを設置

2 施設設備の充実

- (1) 和室でのイス利用が気軽にできるように和室用のイスとテーブルを増設します。(再掲)
- (2) 利用しやすいコーヒーマシンの導入を検討します。

**3 利用機会の充実**

- (1) 団体の活動発表の場としてセンターまつりに加え、新たな機会を利用者と共に企画します。
- (2) 本の寄贈も推進し、リサイクル本コーナーでリサイクル本の有効利用をします。

カ ニーズ対応費の使途について

ニーズを考慮した優先順位作成 施設利用者からの要望等に基づいた、設備更新等にかかる費用対効果等を考慮し、優先順位をつけて利用者の利便性の向上につながる設備更新を図ります。

具体例

予約システム改修費用、カーペットの張替え、和室テーブルセット増設、卓球台、個人利用スポーツ貸出品、麻雀台、遮光ネットなど

(4) 施設の運営計画**キ 本市重要施策に対する取組み****1 情報公開**

- 1 利用方法・運営情報の公開** 施設だより（年4回）、ウェブ、SNS、館内掲示等で情報公開します。
- 2 情報公開請求への対応** 市に準じた対応を実施します。

2 人権尊重

- 1 人権啓発研修** 職員全員に年1回実施し、施設にあわせたテーマを考えることで、常に「気づく」という人権感覚をもつよう働きかけます。
- 2 人権に配慮した対応** 高齢者・障害者・こども・外国人等に対して、わかりやすい言葉で相手の立場に立った対応に努めます。
- 3 ウェブアクセシビリティへの取り組み** ウェブは、2019年4月にJIS規格X8341-3:201のレベルAAを取得しておりレベル維持に努めます。（再掲）
- 4 障害者差別解消推進研修** 職員対象に年1回実施して施設環境や対応の改善に努めます。

3 SDGsへの取り組み

持続可能な開発目標を目指す「SDGs」に取り組みます。

「市SDGs未来都市計画」に基づき、省エネやごみの削減等の身近な課題に取り組みます。

- 1 「省エネ型照明LED化」を引き続き進めます。**
- 2 グリーンカーテンの育成やブラインドを利用した夏の暑さ対策を継続します。**
- 3 小型家電、古紙・古布、小型バッテリー等の回収ボックスを設置し、ヨコハマ3R夢プランを推進します。**
- 4 ペットボトルのフタを近隣高校ボランティア部と連携し回収・有効利用しています。**

**4 市内中小企業の優先発注**

市内中小企業を対象に、低価格で質の高い業者選定に向けて、市内中小企業を優先的にリスト掲載し、法人内の選定委員会で選定した事業者による入札を行います。

5 地域の課題解決や情報共有のための体制づくり

- 1 子育てしやすい地域となるように** 孤立した子育てとならないように、地域の子育て支援関係団体が連携して課題を共有します。「親子スタンプラリー」を開催し、親子で集う場、相談ができる場の周知にも繋げます。子育て講座等も開催します。（方針施策2-①、計画2-2-1,2、2-3-2）
連携団体：こども家庭支援課、ケアプラザ、保育園、子育て支援者、親と子のつどいの広場等
- 2 こども・青少年を地域ぐるみで見守るために** 日頃の声かけを通して、家庭・学校以外の居場所として青少年の心に寄り添うように努めます。青少年支援関係団体と連携し課題を共有します。（方針施策1-⑧、計画2-2-1,2）
連携団体：こども青少年局、地域振興課、こども家庭支援課、都筑多文化・青少年交流プラザ、他地区センター等
- 3 地域を知り地域に愛着を持つように** 地域の施設、団体と連携し、「仲町台を探検しよう」等の地域イベントを企画し、ふるさと意識の醸成を図ります。「メンズライフ講座」では、男性の地域活動参加を促します。（方針施策1-⑦、3-②、計画1-2-1,2-2-2,3-2-1）
連携団体：施設、地域企業、地域団体、自治会町内会、商業振興会、ボランティア団体等

(5) 自主事業計画

自主事業に対する基本的な考え方

地域住民がより生き生きと豊かな毎日が送れるように、健康維持・増進、子育て支援、こども・青少年支援、生涯学習、地域づくりの観点から自主事業を企画しています。様々な地域資源を生かし、多様な事業を展開し、つながりづくりや事後活動の立ち上げなど、住民の継続的な自主活動を支援します。

仲町台地区センター自主事業

健康維持・増進 方針施策 2-⑥⑦、計画 2-3-1,3

高齢者の健康維持の生活サイクルを担い、あらゆる世代の健康増進に関わる講座を開催します。

- (例) 健康体操、パワーヨガ、ピューティコアト、レーニング、骨盤底筋体操、卓球スクール等



健康体操

こども・青少年支援 方針施策 1-⑧
計画 2-2-2、2-3-2

こどもたちの成長を支援し、見守り、地域参加や世代を超えた交流を促します。

- (例) 科学教室、卓球教室、バスケットボール教室、将棋教室、放課後イベント、ボランティア活動等

こどもまつり受付
ボランティア活動

生涯学習 方針施策 1-⑦、計画 3-1-1

生活をより豊かに張のあるものにするための趣味や学習の講座を開催します。

- (例) パン教室、園芸講座、手芸講座、料理教室、スマホ講座、語学講座、メイク講座、芸術講座等

新年を迎えるフラワー
アレンジメント

子育て支援 方針施策 2-①、計画 2-2-2、2-3-2

孤立しない子育てのために、産後の回復・リフレッシュ、仲間づくり、相談などができる場を提供しています。

- (例) 親子スタンプラリー、ベビーと一緒に楽しむママヨーガ、おはなし会、保育付きままくらぶ等



ママヨーガ



おはなし会

地域づくり 方針施策 1-⑥、3-②⑤⑥
計画 2-2-1,2、3-1-1、3-2-1

様々な地域の施設や団体と連携し、地域住民が地域を知り、地域に興味を持ち、地域参加・交流をしていく講座を開催します。

- (例) 仲町台探検、新栄高校セミナー、多文化理解・共生講座、メンズライフ講座、横浜ビー・コルバスケ教室、防災講座、センターまつり等

仲町台を
探検しよう



メンズライフ講座
公園愛護会
ボランティア



(6) 施設の維持管理計画

1 保守管理計画の考え方

施設の経年劣化と近年の光熱水費上昇に対応するため、効率的・計画的な維持管理手法を取り入れ、持続可能な施設運営と長寿命化を目指します。また、協会内の人材や行政の関係者を講師とし、維持管理に関わる技能と知識の習得に努めるとともに、専門家やボランティアの力を活用します。

施設維持管理

長期修繕計画

修繕委員会開催

業者ヒヤリング、計画算定、進捗確認
⇒ 5カ年の計画的で効率的な管理

日常管理

なおし隊活動

多彩な人材を生かした協会内修繕グループ
できることは自前で ⇒ 安価で細かい管理
ボランティア協力
利用者による清掃・植栽 ⇒ 施設への愛着

定期点検

早期対応で予防的修繕

業務内容、責任体制の明確化により
⇒ 安価で安全な管理

業者委託

市内中小企業優先

専門的業務を市有資格者名簿から選定
⇒ 安価で地域貢献

2 作業体制、作業内容、頻度

	業務 内 容	頻 度		業務 内 容	頻 度
電気・機械設備	機器運転監視 ※自前による	毎 日	建 物 等	消防用設備点検(消火器詰替は5年毎)	2回/年
	設備総合巡回点検 (放送設備・電話交換機・電気時計含む)	1回/月		昇降機点検	1回/月
	電気設備巡回点検	1回/2月		自動ドア点検	2回/年
	電気設備定期点検	隔月		非常通報装置点検	1回/年
	中央監視装置点検	1回/年		機械警備点検(夜間時・休館日)	常 時
	空調自動制御点検	2回/年		日常清掃・点検、環境整備 ※自前による	毎 日
	空調設備点検(夏冬切替)	2回/年		重点清掃 ※自前による	1回/ 2~3月
	熱源機器等点検(冷温水器・冷却塔等)	2回/年		定期清掃(ガラス清掃は3回/年)	1回/月
衛 生 管 理	受水槽高架水槽清掃	1回/年	清 掃 等	害虫駆除	2回/年
	飲料水水質検査	1回/年		植栽剪定・草刈	随 時
	グリストラップ等の清掃(排水設備の清掃)	1回/年		小破修繕 ※自前による	随 時

(7) 収支計画(収入計画)

- ア 収入計画の考え方について
イ 増収策について

ア 収入計画の考え方について

1 利用料金収入 料理室は料理の自主事業からグループ立ち上げや会議利用の促進、和室はイス・テーブルの増設などによる利便性の向上などで稼働率を上げていきます。

午後の部屋稼働率が一番低いことから、その時間に活動するグループの立ち上げを支援します。

2 自主事業収入 適切な募集人数の設定、受益者負担を原則とし、地域住民が受講しやすい料金を設定します。ただし、住民への啓発や防災講座、まちの問題解決のための講座など公益性の高い事業は、参加費を控え多くの住民が参加しやすくなります。

しばらくの間はコロナ禍での実施となるため、定員や飲食の制限、感染防止対策など、利用者の安全・安心確保を最優先とし、確実に実施できるような設定となります。魅力ある講座を企画し、多くの方に参加いただけるような講座を開催します。

3 雑入 卓球ボール・バトミントンシャトルなどは、原価に近い価格で販売しています。

* H31,R2 はコロナウイルスによる臨時休館があったため比較対象外としています。

イ 増収策について

1 利用料金収入

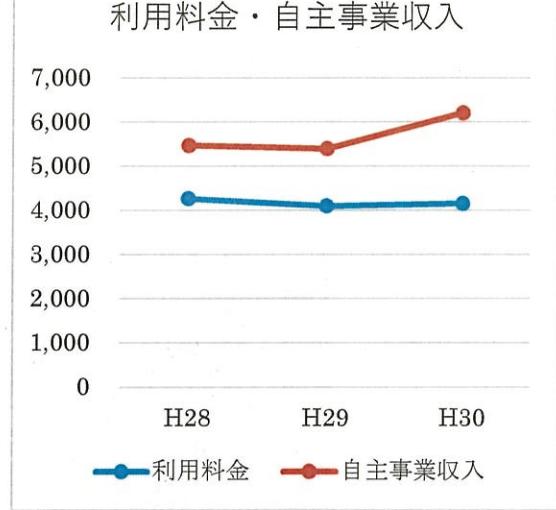
- (1) 稼働率が低い時間帯、部屋について、事後会立ち上げを念頭に自主事業を企画します。
- (2) 料理室は自主事業からグループ立ち上げを図ります。会議利用も促進します。
- (3) 和室はイス・テーブルを増設し、会議や麻雀などにも使いやすいようにします。
- (4) 地区センターの設置の観点から、現在、家族のみの部屋利用ができませんが、個人利用に限っては、3名まで家族のみでも利用できるようにします。

2 自主事業収入

- (1) 自主事業はキャンセル待ちなど人気がある講座については複数回開催します。
- (2) ニーズに応え、健康維持・増進講座などは定期的に開催します。
- (3) 地域資源を活用しながら、多くの方が興味を持つような魅力ある講座を企画します。
- (4) 参加を促すために参加費を抑えつつ、運営が保たれるように適切な参加費、参加人数を設定します。

3 雑入

憩いの時間提供のためにもコーヒーマシーンの導入を検討します。



(7) 収支計画(支出計画)

ウ 支出計画の考え方について

ウ 支出計画の考え方

年度当初に、館長、会計担当副館長、本部経理担当者と共に現状分析、中・長期的事業計画、利用者ニーズ等を検討の上、計画的・効率的に支出します。

1 人件費

館長1人、副館長2人の職員3人体制から館長1人、副館長1人、専任スタッフ2人の体制見直しにより人件費の縮減に努めます。(再掲)

2 光熱費

新電力会社への電力切り替えにより年間27万円以上の削減が実現しました。今後は、省エネタイプの照明・備品への切り替えを進め光熱費削減に努めます。コロナ対策として窓開けや機械換気による冷暖房の光熱費増加は不可避と考えられますが、それを想定した支出計画で対応します。

3 事務費

- (1) サーバーでのデータ共有・管理によりペーパーレス化を進めています。
- (2) NPO法人用の安価なグループウェア等の導入により、効果的、効率的な情報共有と伝達が可能となります。
- (3) 図書・消耗品・備品等、インターネットショッピングを利用し価格と過剰在庫を抑えます。



自前修繕障子張り

4 維持管理費

- (1) 開所後30年が経過し経年劣化が進んでいます。このため区役所と相談して、保全的修繕の実施により、重大で高額な故障を未然に防ぎ安全・安心、快適な施設管理を行います。
- (2) 管理業務委託を市内中小企業による入札で適正かつ低価格に抑えます。
- (3) 技能をもつスタッフにより、簡易な修繕は自前で修繕して修繕費削減に努めます。
- (4) 法人内一括発注(清掃委託、自販機設置、電力供給契約、祭の食材等)により効果的な契約が可能となります。

5 コロナ対策費

- (1) 安全・安心な施設運営のためのコロナ対策に必要な設備改修や備品購入を積極的に検討します。
- (2) 消毒液やマスクなどの消耗品は協会内一括購入で安価に入手します。
- (3) インターネット環境を充実し、オンラインによる会議等で業務の効率化を進めます。

..... 経理管理体制



(8) 団体の実績

ア 選定時の提案における実施状況について

イ 新型コロナウイルス感染症に係る対応と利用者ニーズの反映について

ア 選定時の提案における実施状況について

1 地域コミュニティの醸成 防災講座やジョイントコンサートなどで培ったつながりを活かし、世代間交流、人材育成、まちづくりにも寄与する仲町台探検、メンズライフ講座、子育て支援の親子スタンブラーなど様々な講座を開催しました。多様な施設、団体との連携により事業の企画運営を行い、講座修了者が次の企画の担い手となる仕組みも構築され、次年度につながっています。

2 利用促進策とサービス向上 ウェブ予約の導入、個人利用の予約開始日の前倒し、和室、料理室の利用制限緩和、Wi-Fi 設置、照明の順次 LED 化など、多くの要望に応えることができました。

3 収支計画 利用料金収入はほぼ横ばいですが、自主事業収入は 20% 増であり、電力供給会社の見直しにより電気料金前年度比 27 万円以上の削減が実現しました。また長期的な経費削減を目指し、順次 LED に交換しています。

イ 新型コロナウイルス感染症に係る対応と利用者ニーズの反映について

1 利用者ニーズ

(1) 「感染防止対策がしっかりと安心して利用できること。」

(2) 「何ごとも禁止、中止ではなく、感染対策を講じながら利用したい。」

(3) 「少しでも感染リスクを下げるためにおうち時間を大切にしたい。」

2 ニーズへの反映

(1) 全て、市のガイドラインに従って運営しました。

階段手すり消毒

ア 入館の際に、アルコール手指消毒、マスク着用、密回避を呼びかけました。

イ 窓、ドアオーブンの換気を徹底しました。

ウ 書類記入の鉛筆等も消毒済みと使用済みが分かるようにしました。

エ イスやテーブルなどの共有物は使用後参加者に消毒の協力を仰ぎました。

オ オープンスペースの利用人数も常時より減らし密にならない工夫をしました。

(2) ア 自主事業は参加者全員に検温、部屋の入り口でのアルコール手指消毒等の感染対策を徹底しました。

イ 屋外での講座を積極的に展開しました。

ウ 休館中はオンライン講座を開催しました。

(3) ア おうち時間充実の助けになる本の紹介や新規図書購入に力を入れました。

イ 講座終了後に家でも楽しめる手芸やセルフマッサージなどの講座を開催しました。

(9) 新型コロナウイルス感染症等に係る対応**1 新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る考え方**

新型コロナウイルス感染症等の感染拡大防止については、WHO や厚生労働省による「エビデンス（科学的根拠）」に基づき、「正しく理解し、正しく恐れる」姿勢を基本スタンスとします。

(1) 現時点（7月12日）での新型コロナウイルスの主なエビデンス

- ア 新型コロナウイルスによる感染症であり、主に「飛沫」により感染する。
- イ 主に冬季に流行するインフルエンザと異なり「季節に関係なく」感染する。
- ウ 「高年齢層が重症化」しやすい傾向にあるが、「変異株」が複数出現しており、それぞれに特徴があり、若年層の感染増加・重症化も懸念される。
- エ 現状では「ワクチン接種」が最大の感染予防策であるが、ワクチンの持続効果は検証中である。

(2) 感染拡大の防止

職員、スタッフが新型コロナウイルス感染症のエビデンスを「正しく理解し、正しく恐れる」ことにより、適切な感染拡大防止策に取り組みます。また、長期の感染症対策で外出自粛や運動不足、交流機会の減少等による心身の健康二次被害が懸念されることから、住民の健康保持・増進や、ストレスの解消により自己免疫力向上が感染を予防すると考え、安心して来所（参加）することができるように対応策の情報を発信します。

2 具体的な感染防止対策

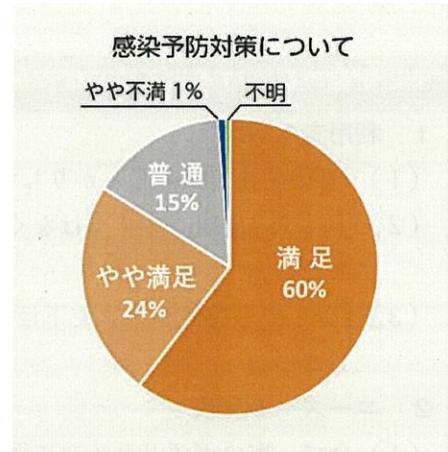
- (1) スタッフおよび利用者の手指洗い・消毒、うがい、検温、マスク着用を徹底します。
- (2) 密閉、密集、密接の防止のため、各部屋の定員やロビー等の人数制限、飲食の制限（水分補給は可）など、一部利用制限を実施します。窓開け、換気扇による定期的な換気を実施します。
- (3) 利用者の協力による使用備品、接触箇所の消毒の徹底とスタッフによる定期的な館内消毒を実施します。
- (4) 飛沫防止のためのビニールカーテン、衝立の設置を工夫します。掲示やウェブ等での感染症対策の注意喚起と情報発信をします。
- (5) 万が一の利用者の感染時に連絡が取れるよう、利用者名簿の作成による危機管理を徹底します。

3 コロナ禍における自主事業開催の工夫

- (1) 感染状況からの影響を最小限に抑えるため、自主事業の内容、参加人数、広い部屋や屋外での開催など、安全性の高い自主事業計画を立てます。
- (2) 座学などの講座では、対面とオンラインライブ配信のハイブリッドで開催する新しい形の自主事業を進めます。
- (3) 感染拡大状況によっては、来館できない場合でも家庭でできるYouTube等を利用したオンデマンド講座の発信を行い、地域住民の心身の健康促進・維持を支援します。
- (4) 高齢者でも利用できる簡単なICT（情報通信技術）講座を開催して、高齢者の参加により、いわゆる孤立を防ぐとともに体力の維持を図ります。

4 利用収入減に対する対応策

- (1) 感染症による影響を最小限にできるよう事業計画を見直します。部屋の利用人数制限を想定し、参加者人数の見直し、飲食を伴わない事業の立案、密にならない事業企画など、利用者の安全・安心に配慮した事業を計画します。
- (2) 団体活動が安心してできるように、利用方法を探り、感染対策の周知と理解に努めます。



横浜市仲町台地区センター自主事業計画書

団体名 特定非営利活動法人つづき区民交流協会

事業名	①募集対象	自 主 事 業 予 算 額				
	②募集人数	総経費	収入		支出	
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費
健康体操 (1講座40回)	60歳以上	830,000	-50,000	880,000	550,000	20,000
	160人					
	5,500円					
パワーヨガ1期・2期・3期 (3講座30回)	一般	820,000	-620,000	1,440,000	540,000	50,000
	360人					
	4,000円					
朝活！ビューティコアトレーニング 1期・2期・3期 (3講座18回)	一般	176,000	-40,000	216,000	126,000	10,000
	60人					
	3,600円					
骨盤底筋体操 (2講座12回)	一般	122,000	-22,000	144,000	84,000	8,000
	40人					
	3,600円					
プロに習う卓球スクール 1期・2期・3期 (3講座30回)	一般	835,000	-29,000	864,000	740,000	15,000
	108人					
	8,000円					
みんなで歌おう 前期・後期 (2講座10回)	一般	168,000	0	168,000	140,000	10,000
	60人					
	2,800円					
うたって脳活♪健康体操 前期・後期 (2講座20回)	概ね60歳以上	175,000	-45,000	220,000	110,000	25,000
	20人					
	5,500円					
健康麻雀入門講座 (1講座5回)	一般	48,000	0	48,000	35,000	7,000
	16人					
	3,000円					
シニアのためのスマホ 使い方講座 (3講座9回)	概ね60歳以上	59,600	2,000	57,600	45,000	2,600
	36人					
	1,600円					
認知症講座 (1回)	一般	12,000	12,000	0	10000	500
	30人					
	無料					
終活講座 (1回)	一般	1,500	1,500	0	0	0
	15人					
	無料					
夏のスワッグで花あしらい (1回)	一般	33,600	0	33,600	7,000	24,600
	16人					
	2,100円					
秋を彩るスワッグ (1回)	一般	33,600	0	33,600	7,000	24,600
	16人					
	2,100円					

(様式3)

事業名	①募集対象 ②募集人数 ③一人当たり参加費	総経費	自 主 事 業 予 算 額				
			収入		支出		
			指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
クリスマス・お正月 2wayスワッグ (1回)	一般	35,200	0	35,200	7,000	26,200	2,000
	16人						
	2,200円						
スワッグで春を束ねる (1回)	一般	33,600	0	33,600	7,000	24,600	2,000
	16人						
	2,100円						
新年を迎える フラワーアレンジメント (1回)	一般	31,200	0	31,200	7,000	23,200	1,000
	12人						
	2,600円						
ハロウィンの フラワーアレンジメント (1回)	一般	31,200	0	31,200	7,000	23,200	1,000
	12人						
	2,600円						
園芸講座 (1回)	一般	29,000	5,000	24,000	10,000	18,000	1,000
	12人						
	2,000円						
気軽にハンドメイド (3回)	一般	18,000	0	18,000	4,500	10,500	3,000
	36人						
	500円						
金つぎ講座 (1回)	一般	36,000	0	36,000	6,000	29,000	1,000
	12人						
	3,000円						
ちぎり絵講座 (3回)	一般	24,000	0	24,000	9,000	12,000	3,000
	12人						
	2,000円						
大人の折り紙 (1回)	一般	8,000	0	8,000	0	5,000	3,000
	16人						
	500円						
七宝焼き講座 (3回)	一般	24,000	0	24,000	9,000	12,900	2,100
	12人						
	2,000円						
メイクアップ講座 (2回)	一般	4,800	0	4,800	0	1,800	3,000
	24人						
	200円						
料理をとおして異文化を 楽しむ (3回)	一般	54,000	0	54,000	9,000	40,000	5,000
	36人						
	1,500円						
やさしい英語でクッキング (3回)	一般	54,000	0	54,000	9,000	40,000	5,000
	36人						
	1,500円						
おもしろ！中国語入門講座 (6回)	一般	37,200	0	37,200	30,000	700	6,500
	12人						
	3,100円						

(様式3)

事業名	①募集対象 ②募集人数 ③一人当たり参加費	自 主 事 業 予 算 額					
		総経費	収入		支出		
			指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
ドイツパン講座 (3回)	一般	64,800	0	64,800	9,000	53,800	2,000
	36人						
	1,800円						
健康麻雀大会 (1回)	一般	33,000	5,000	28,000	7,000	20,000	6,000
	28人						
	1,000円						
百人一首大会 (1回)	小学生以上	17,800	5,000	12,800	10,000	6,000	1,800
	16人						
	800円						
新栄高校セミナー (2回)	一般	4,000	4,000	0	0	3,000	1,000
	20人						
	無料						
仲町台カフェ (6回)	一般	33,500	20,000	13,500	9,000	15,000	9,500
	90人						
	150円						
パソコンカフェ (6回)	一般	28,000	20,800	7,200	18,000	0	10,000
	72人						
	100円						
読書カフェ (6回)	一般	2,000	2,000	0	0	2000	0
	36人						
	無料						
ペット防災を考える (1回)	一般	13,000	13,000	0	10,000	1,000	2,000
	30人						
	無料						
メンズライフ講座 (1講座4回)	一般	34,000	10,000	24,000	20,000	7,000	7,000
	12人						
	2,000円						
仲町台まちづくり講座 (1講座2回)	一般	25,000	10,000	15,000	9,000	10,000	6,000
	15人						
	1,000円						
地区センターまつり (1回)	全般	380,300	380,300	0	60,000	270,300	50,000
	自由参加						
ベビーと一緒に楽しむ ママヨガ前期・後期 (2講座20回)	乳児と母	260,000	0	260,000	200,000	10,000	50,000
	40組						
	6,500円						
ままくらぶ 保育付き (3回)	親子	92,500	25,000	67,500	21,000	30,500	41,000
	45組						
	1,500円						
親子体操1期・2期・3期 (3講座18回)	親子	176,000	5,000	171,000	126,000	10,000	40,000
	45組						
	3,800円						

(様式3)

事業名	①募集対象 ②募集人数 ③一人当たり参加費	自 主 事 業 予 算 額					
		総経費	収入		支出		
			指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
子ども卓球教室 (1講座5回)	小学生	108,000	0	108,000	85,000	5,000	18,000
	36人						
	3,000円						
おもちゃの病院 (3回)	幼児と保護者	18,000	18,000	0	12,000	0	6000
	48組						
	無料						
親子そば打ち教室 (2講座2回)	小学生と保護者	28,800	0	28,800	6,000	14,800	8,000
	18組						
	1,600円						
食品サンプルクラフト (1回)	小学生と保護者	14,400	0	14,400	7,000	5,900	1,500
	16人						
	900円						
子ども科学クラブ (2講座2回)	小学生	53,000	5,000	48,000	10,000	40,000	3,000
	40人						
	1,200円						
将棋入門講座 (2講座2回)	小学生以上	96,000	0	96,000	70,000	11,000	15,000
	24人						
	4,000円						
かきぞめ講座 (1回)	小学生以上	12,200	1,400	10,800	10,000	700	1,500
	12人						
	900円						
横浜ビー・コルセアーズ選手 によるバスケットボール教室 (1回)	小学生	18,000	0	18,000	10,000	5,500	2,500
	60人						
	300円						
キッズ英語クラブ (6回)	幼児	45,600	0	45,600	30,000	7,600	8,000
	12人						
	3,800円						
はあとdeボランティア (1回)	小5～高校生	8,000	8,000	0	0	5000	3,000
	自由参加						
	無料						
放課後見守りイベント (3回)	主に小学生	12,000	12,000	0	0	12,000	0
	自由参加						
	無料						
おはなし会 (19回)	親子	21,000	21,000	0	21,000	0	0
	190組						
	無料						
こどもまつり (1回)	全般	220,000	220,000	0	50,000	155,000	15,000
	自由参加						
合 計		5,553,400	0	5,553,400	3,318,500	1,165,500	1,069,400

事業ごとの事業内容等を様式4に記載してください。

(様式4)

横浜市仲町台地区センター自主事業別計画書（単表）

団体名 特定非営利活動法人つづき区民交流協会

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
健康体操 継続 (平成8年度)	<p>＜目的＞ 60歳以上の方を対象に、健康維持・仲間づくりに1年を通じセンターを活用いただく。</p> <p>＜内容＞ 体操を中心に無理なく楽しく運動する。月に1度は横浜ビー・コルセアーズに協力頂いている。</p> <p>選定理由 健康維持を目的としたシニア向け講座として参加希望が非常に多い。</p>	3月～4月 (全40回)
パワーヨガ 継続 (平成18年度)	<p>＜目的＞ 成人を対象に、健康維持と仲間作りを目的とする。</p> <p>＜内容＞ エクササイズヨガを学ぶ。</p> <p>選定理由 健康維持を目的とした講座として、参加希望者が多く定着している。</p>	1期(5月～7月) 2期(9月～11月) 3期(1月～3月) (全30回)
朝活！ ビューティコア トレーニング 継続 (平成29年度)	<p>＜目的＞ 健康維持講座。</p> <p>＜内容＞ 体幹を鍛えるトレーニングを学び、仲間づくりをする。</p> <p>選定理由 ビューティコアトレーニング体験講座として大変人気がある。</p>	1期(5～7月) 2期(9～11月) 3期(1～3月) (各6回)
骨盤底筋体操 継続 (令和2年度)	<p>＜目的＞ 骨盤底筋を鍛えることにより、ポッコリおなかの改善や加齢や出産後の尿漏れや骨盤の歪み改善を助けます。</p> <p>＜内容＞ 骨盤底筋のトレーニングをする。</p> <p>選定理由 地域講師からの提案。加齢や出産後の尿漏れや骨盤の歪みに悩んでいる方も多いと声もあるので。</p>	前期(6～9月) 後期(10月～2月) (各6回)
プロに習う 卓球スクール 継続 (平成29年度)	<p>＜目的＞ はじめて卓球される方から、更なるスキルアップを目指す方々対象の卓球スクール。</p> <p>＜内容＞ レベル別に練習する。3期、各10回コース。</p> <p>選定理由 健康維持に卓球が有用であり人気である。都筑区卓球協会と共に事業。参加希望者が非常に多い。</p>	1期(4月～7月) 2期(8月～11月) 3期(12月～3月) (各10回)
みんなで歌おう 継続 (平成23年度)	<p>＜目的＞ みんなで一緒に歌うことで、健康維持・仲間づくり・生きがいづくりを目的とする。</p> <p>＜内容＞ 歌のサロン講師を招き、指導いただきながらみんなと一緒に歌う。</p> <p>選定理由 みんなで一緒に歌う時間が楽しいという希望があつた。</p>	前期(5～10月) 後期(11～3月) (各5回)

(様式4)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
うたって脳活！ 健康体操 継続 (平成27年度)	<目的> 音楽を通じ健康促進・維持をはかる。 <内容> 第一興商介護予防士・健康予防管理専門士による歌謡体操、口腔ケア、脳トレ等の健康講座。 選定理由 高齢者の脳と体の活性化にカラオケを活用する。	前期(4~9月) 後期(10~3月) (各10回)
健康麻雀入門 講座 継続 (令和3年度)	<目的> 麻雀をとおして、健康増進、維持を図る。脳トレにもなる麻雀の楽しさを知る。 <内容> 麻雀を基礎から学ぶ。 選定理由 既存麻雀団体は、ある程度麻雀ができる人の受け入れはあるが初心者は難しいとの声があったため。	8月~9月 (全3回)
シニアのためのスマートフォンの使い方講座 継続 (令和2年度)	<目的> 持っているけど使えないという方のために、情報収集や連絡等として有効なスマートフォンの使い方を学ぶ。 <内容> LINEなどのアプリの使い方も含めスマートフォンの基礎的使い方を実際に自分のスマートフォンを使って学ぶ。 選定理由 スマートフォンを持っていない方向けの講座はあったが、持っていて使えないという声が多数あったので。	1期 6月 2期 10月 3期 2月 (各3回)
認知症講座 継続 (令和3年度)	<目的> 家族で認知症の疑いを持ったり対応に苦慮している方が少しでも楽になるための知識を提供する。 <内容> 認知症の方の症状や特徴、また、対応の仕方などを学ぶ。 選定理由 認知症についての知識や対応法などを知りたいというニーズに応えて選定。	11月 (1回)
終活講座 継続 (平成30年度)	<目的> 相続などの大切な基礎知識を知りたい方のために民法などをわかりやすく説明する。 <内容> 相続についてなどの終活講座。 選定理由 地域の税理士による持ち込み企画。	9月 (1回)
夏のスワッグで花あしらい 継続 (平成30年度)	<目的> 夏の花を生花からドライまで長く楽しむ。 <内容> 夏らしい花を使ったスワッグと呼ばれる草花でつくる壁飾り作り 選定理由 今流行りのスワッグ作り体験。毎回好評である。	6月 (1回)

(様式4)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
秋を彩るスワッグ 継続 (令和2年度)	<p><目的> 秋らしい花を生花からドライまで長く楽しむ。</p> <p><内容> 秋の草花を使ったスワッグと呼ばれる花束の壁飾り作り</p> <p>選定理由 今流行りのスワッグ作り体験。秋の講座。毎回好評である。</p>	9月 (1回)
クリスマス・お正月 2WAYスワッグ 継続 (平成30年度)	<p><目的> クリスマスとお正月のスワッグ飾り。</p> <p><内容> リメイクしてクリスマスとお正月2WAYのスワッグを楽しむ。</p> <p>選定理由 クリスマスだけでなくお正月も楽しむことが出来るスワッグ作り体験ができるので。</p>	12月 (1回)
スワッグで春を束ねる 継続 (令和2年度)	<p><目的> 春を感じるお部屋づくりにスワッグを活用する。</p> <p><内容> 春を感じる花を使ったスワッグと呼ばれる草花でつくる壁飾り作り</p> <p>選定理由 毎回好評であるスワッグ作りを四季で展開する。</p>	3月 (1回)
新年を迎えるフラワーアレンジメント 継続 (令和2年度)	<p><目的> 新年を迎えるにあたってお部屋を生花で華やかに演出する。</p> <p><内容> 生花を使って、新年を迎える華やかなフラワーインジメントをつくる。</p> <p>選定理由 地域の皆さんのがお正月を迎える準備を楽しみながらできる。</p>	12月 (1回)
ハロウィンのフラワーインジメント 継続 (令和3年度)	<p><目的> ハロウィンらしいフラワーインジメントを楽しむ。</p> <p><内容> 生花を使って、秋らしいフラワーインジメントをつくる。</p> <p>選定理由 地域の皆さんのが日本でも一般的になってきたハロウィンをフラワーインジメントという形で楽しめる。</p>	10月 (1回)
園芸講座 継続 (平成21年度)	<p><目的> 近隣にある企業(サカタのタネ)を知り、園芸の知識を学ぶ。</p> <p><内容> 園芸の知識を学び実践する。</p> <p>選定理由 企業連携、地域の企業を紹介しながら、専門知識を学ぶ。毎年好評である。</p>	9月 (1回)

(様式4)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
気軽にハンドメイド 継続 (令和2年度)	<p><目的> 気軽に参加して1回で仕上がる手芸などを楽しむ。手を動かしながら、交流の場を提供する。</p> <p><内容> 1回完結の作品を講師に教えていただきながら作る。</p> <p>選定理由 身体を動かす講座が多い中、気軽に参加できる手仕事の講座も必要であり、地域資源の活用にもなる。</p>	7月・11月・2月 (3回)
金つぎ講座 継続 令和3年度)	<p><目的> 大切な陶器などを大事に使うために金でつぐ。</p> <p><内容> 割れてしまった陶器を持ち寄り、金で修理する。</p> <p>選定理由 文科系の講座も取り入れてほしいという声にお応えした。サステナブルの観点からも時代に即している。</p>	2月 (1回)
ちぎり絵講座 継続 (令和3年度)	<p><目的> ちぎり絵で手作業を楽しむ。</p> <p><内容> 和紙をちぎり、秋らしい作品を完成させる。</p> <p>選定理由 参加者同士、手を動かしながら、交流もできる。作品を完成することで達成感も得られる。</p>	9月～10月 (3回)
大人の折り紙講座 継続 (平成28年度)	<p><目的> 日本に伝わる古典作品から、本格創作折り紙作品まで折り紙を知る。</p> <p><内容> なつかしくて新しい折り紙を学ぶ。</p> <p>選定理由 手先を使うことで、脳の活性化と知的好奇心を高める。</p>	2月 (1回)
七宝焼き講座 新規 (令和4年度)	<p><目的> 七宝焼きの素晴らしい作品を交流しながら作る。</p> <p><内容> 金属にガラス質の釉薬を焼き付けてアクセサリーなどを作る。</p> <p>選定理由 利用団体からの申し出であり、七宝焼きの炉の有効利用をする。</p>	9月 (3回)
マイクアップ講座 継続 (平成31年度)	<p><目的> マスク生活で荒れたお肌の手入れやマッサージ法などを学ぶ。</p> <p><内容> メイクの基本やコツ、マッサージ法などを学び、体験する。</p> <p>選定理由 企業からの企画持ち込み。</p>	7月・10月 (各1回)

(様式4)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
料理をとおして異文化を楽しむ 継続 (令和2年度)	<p><目的> 地域への学びの提供。料理をとおしていろいろな国の文化を知りその国に親しみを持ってもらう。</p> <p><内容> 地域の外国人住民にその国の料理とともに、文化を紹介してもらう。</p> <p>選定理由 多文化を紹介する機会を提供するとともに、地域の外国人にも自分たちの文化を発信する場を提供する。</p>	7月、10月、12月 (3回)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
やさしい英語でクッキング 継続 (令和3年度)	<p><目的> 地域の英語がネイティブの方にやさしい英語で料理を教えてもらう。</p> <p><内容> やさしい生きた英語で料理を学ぶ。</p> <p>選定理由 単に英会話教室ではなく、使いながら学べ、料理も楽しんでもらう。</p>	9月～11月 (3回)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
おもしろ！中国語入門講座 継続 (令和3年度)	<p><目的> 近年、学習者が多くなっている中国語を学ぶ。</p> <p><内容> 中国語を初步的な会話から学ぶ。</p> <p>選定理由 地域住民の持ち込み企画。活躍と学習の場を提供する。</p>	6月～7月 (6回)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ドイツパン講座 継続 (令和3年度)	<p><目的> パン作りをとおしてドイツの文化を学ぶ。</p> <p><内容> ドイツのパン作り。</p> <p>選定理由 近くにドイツ学園もあり、ドイツにゆかりがある地域なのでドイツの方から文化を学ぶ。</p>	10月～12月 (3回)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
健康麻雀大会 継続 (平成29年度)	<p><目的> 健康促進。</p> <p><内容> 28名募集、勝ち抜き戦。</p> <p>選定理由 麻雀のサークルが活発なことから、講師の協力を得て大会を企画。</p>	11月 (1回)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
百人一首大会 継続 (平成26年度)	<p><目的> 百人一首を通じての多世代参加事業。</p> <p><内容> 小学生から大人まで対象に大会を実施。</p> <p>選定理由 古典の基礎知識と集中力アップ。</p>	2月 (1回)

(様式4)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
新栄高校セミナー 継続 (平成27年度)	<p><目的> 地域への学びの提供。地域の学校として新栄高校を親しみを持ってもらう。</p> <p><内容> 新栄高校教師の協力により夏休みを利用して講座を開催。</p> <p>選定理由 県立新栄高校との連携事業。地域の高校の人材活用と開かれた高校づくり。</p>	8月 (1講座2回)
仲町台カフェ 継続 (平成30年度)	<p><目的> 活動団体カフェ運営、活動紹介や情報交流、居場所づくり。</p> <p><内容> 手作りお菓子付コーヒーカフェ。夏には、カレーも実施。</p> <p>選定理由 男性シニアグループ「男楽々会」からの企画提案。</p>	10月～3月 (6回)
パソコンカフェ 継続 (平成26年)	<p><目的> パソコンやスマホのことで交流する場づくり。</p> <p><内容> パソコンボランティアグループ「パソピア」の協力によりカフェ形式で自由に相談や情報交換等ができる。</p> <p>選定理由 パソコン講座ではできない相談・情報交換などの交流をはかる。</p>	5月～2月 (6回)
読書カフェ 継続 (令和元年度)	<p><目的> 本の情報交換と本を通して交流の場を提供する。</p> <p><内容> 読んだ本を紹介しあい、本について情報を交換する。</p> <p>選定理由 図書コーナーをご利用の方も多く、本好きの方の交流の場とご利用の促進になる。</p>	10月～3月 (6回)
ペット防災を考える 継続 (令和3年度)	<p><目的> いつ起きてもおかしくない震災に備え、ペットの防災についての知識を学ぶ。</p> <p><内容> 区役所生活衛生課から行政の取組のお話や獣医師から備えなどについてお話を聞く。</p> <p>選定理由 ペットを飼っている方が多い地域で、ペットの防災に興味がある方も多いと考える。</p>	6月 (1回)
メンズライフ講座 継続 (平成27年度)	<p><目的> メンズライフ楽しみ方応援。</p> <p><内容> メンズライフ講座の事後グループに企画の段階から協力いただき地域活動への提案型講座。</p> <p>選定理由 男性の地域活動、仲間づくりの支援。</p>	1月～3月 (4回)

(様式4)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
仲町台まちづくり 講座 継続 (平成28年度)	<目的> 仲町台の活性化。 <内容> 仲町台のまちおこしをテーマに地域のさまざまなひとと、講座・イベント実施。(仲町台探検など) 選定理由 仲町台のまちの活性化をはかる。	3月 (1回)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地区センターまつり 継続 (平成8年度)	<目的> 登録団体の活動発表、利用団体、地域活動団体、町内会、企業、福祉施設、学校等との交流。 <内容> 団体の展示・発表・体験参加、地域団体・施設等のブース参加・企画もの・模擬店など。 選定理由 活動紹介の場として、出会い・交流・地域をつなげるイベントとして実施。	10月 (1回)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ベビーと一緒に楽しまむママヨーガ 前期・後期 継続 (令和2年度)	<目的> ヨーガを通じ、親子交流、子育て支援。 <内容> 赤ちゃんと一緒に時間を楽しみながら、ヨーガをとおしてお母さんにリラックスタイムを提供する。 選定理由 0歳児を持つ母親向けの講座の必要性も感じ、平成31年度講座のヨーガ講師と相談し提案いただく。	前期(5~10月) 後期(11~3月) (各10回)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ままくらぶ 保育付 継続 (平成24年度)	<目的> 子育て中の母親の活動支援と子どもの育ち支援。 <内容> 講座、企画・当日講師は子育て支援グループへ依頼。子どもの保育は、保育ボランティアに依頼する。 選定理由 保育付とし、親子ともに学ぶ場として提供。団体の活動の場を提供。	7月・12月・2月 (3回)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
親子体操 継続 (平成18年度)	<目的> 1歳8ヶ月以上の子と保護者を対象に、親子で楽しく体を動かしリフレッシュすることを目的とする。 <内容> ボール、ベル、ベルダーを使って運動する。 選定理由 親子ともに楽しみながら、仲間づくりもできる講座として参加希望者が多い。	1期(5月~7月) 2期(9月~11月) 3期(1月~3月) (全30回)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子ども卓球教室 継続 (平成8年度)	<目的> 都筑区卓球協会の指導のもと卓球に親しむ。 <内容> 初級から上級までクラス別に指導。 選定理由 はじめての卓球から、毎年参加の高学年までの受け入れ講座として長年継続。気軽に楽しめる卓球教室。	7月~8月 (1講座5回)

(様式4)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
おもちゃの病院 継続 (平成9年度)	<目的> 故障おもちゃを目の前で修理することにより科学に対する興味、好奇心を育てる。 <内容> おもちゃドクターによる対面修理。 選定理由 父親・祖父母と子どもの参加がみられる貴重な企画。	5月・9月・11月 (3回)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
親子そば打ち教室 継続 (令和3年度)	<目的> 親子のつながりを深めるとともに、日本の食文化の体験もしてもらう。 <内容> 親子でのそば打ち体験。 選定理由 母親のみならず、父親との交流の場になる。 登録団体協力企画。	7月 (1回)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
食品サンプルでメモクリップづくり 継続 (令和3年度)	<目的> 夏休みの自由工作にもなるようなものを親子で作る。 <内容> 食品サンプルの技法でメモクリップを作る。 選定理由 講師持ち込み企画。小学生の夏休み自由工作として適していることから。	8月 (1回)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子ども科学クラブ 継続 (平成27年度)	<目的> 実験を楽しむ。 <内容> 「都筑親子科学クラブ」による、実験教室、ちょっと不思議な現象を体験する。 選定理由 なかなか経験できない踏み込んだ実験を体験する企画。科学に興味を持ってもらう。	7月、8月 (2回)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
将棋入門講座 継続 (平成31年度)	<目的> 将棋の基礎を学ぶ。 <内容> 将棋入門講座。 選定理由 小学生の講座申込希望が多い。	前期5月～9月 後期10月～2月 (2講座10回)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
かきぞめ講座 継続 (平成26年度)	<目的> 世代間交流。 <内容> 新年みんなで作品を仕上げ持ち帰る。 選定理由 日本の伝統文化を多世代で楽しむ。	1月 (1回)

(様式4)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
横浜ビー・コルセアーズ選手によるバスケットボール教室 継続 (令和3年度)	<p><目的> 地元チームの選手に指導いただき、小学生にバスケットボールに親しんでもらう。</p> <p><内容> 横浜ビー・コルセアーズ選手によるバスケットボール指導。</p> <p>選定理由 地元チームである横浜ビー・コルセアーズ選手にチームとバスケットボールに親しんでもらう機会をつくる。</p>	7月 (1回)
キッズ英語あそび 新規 (令和4年度)	<p><目的> 地域の外国人と英語で一緒に遊ぶ。</p> <p><内容> 英語で歌ったり会話したり、楽しい時間を過ごす。</p> <p>選定理由 地域の外国人に先生になっていただき子どもたちに多文化にふれる機会をつくる。</p>	10月～11月 (6回)
はあとdeボランティア 継続 (平成27年度)	<p><目的> 青少年と地域をつなぎ、ボランティア活動で社会性を学ぶ。</p> <p><内容> 中高生を対象に、区内120余の市民利用施設や事業所での夏休みを利用したボランティア活動の実体験。</p> <p>選定理由 区内4地区センターとつづきMYプラザが連携し実施する協働事業。</p>	7月 (1回)
放課後見守りイベント 継続 (平成29年度)	<p><目的> 幼児から大人まで楽しめる企画。</p> <p><内容> 放課後、七夕、クリスマス、など季節行事イベントをボランティアグループと地区センターで実施。</p> <p>選定理由 放課後個人利用時間帯の見守り。</p>	7月、12月、2月 (3回)
おはなし会 継続 (平成23年度)	<p><目的> 子育て中の親子を対象におはなし会を定期的に開催し、本を通しての楽しみ・交流・情報提供の場とする。</p> <p><内容> 読み聞かせ自主グループや「大熊保育園」によるお話し(よみきかせ・パネルシアター・手遊び)</p> <p>選定理由 子育て支援、自主活動グループ支援。</p>	4月～2月 (19回)
こどもまつり 継続 (平成20年度)	<p><目的> 子どもを対象とし、子育て・青少年支援・地域交流を目的とする。</p> <p><内容> 登録団体へ参加募集、企画から参画、高校生ボランティアとコラボし子どもにかかわるイベントとして実施。</p> <p>選定理由 子育て世代が多い地域性から、みんなで子育てる情報拠点の役割を果たす。</p>	7月 (1回)

単独団体名・共同事業体名	特定非営利活動法人つづき区民交流協会
施設名	横浜市仲町台地区センター

令和4年度収支予算書（兼指定管理料提案書）

I. 指定管理料

(単位：千円)

提案額（a）	40,835	指定管理料提案額＝小計【イ】を記入 ※区指定上限額（b）の範囲内で提案してください。
※区指定上限額（b）	40,835	
差引（a）－（b）	0	
提案額の区指定上限額に対する割合 (a) / (b)	100.0%	

II. 令和4年度収支予算書（総括表）

1 収入の部

項目	合計金額 (単位：千円)	備考
利用料金収入【A】	3,600	
自主事業収入【B】	5,553	
雑入【C】	860	
小計【ア】（【A】～【C】）	10,013	施設運営収入の計
指定管理料①【D】	39,635	【ウ】－【ア】
指定管理料②（ニーズ対応費分）【E】	1,200	【A】×1/3
小計【イ】（【D】～【E】）	40,835	指定管理料の計
収入合計（【ア】+【イ】）	50,848	

2 支出の部

項目	合計金額 (単位：千円)	備考
人件費【a】	21,460	
事務費【b】	1,880	
自主事業費【c】	5,553	
管理費A（光熱水費等）【d】	5,500	
管理費B（保守管理費等）【e】	6,912	
公租公課【f】	2,380	
事務経費【g】	5,963	
小計【ウ】（【a】～【g】）	49,648	施設管理運営経費の計
ニーズ対応費【h】（=【E】）	1,200	【E】と同額になります。
小計【エ】（【h】）	1,200	ニーズ対応費の計
支出合計（【ウ】+【エ】）	50,848	

※金額は、消費税及び地方消費税（10%）込みの額を記載してください。

単独団体名・共同事業体名	特定非営利活動法人つづき区民交流協会
施設名	横浜市仲町台地区センター

令和4年度収支予算書

1 収入の部内訳（指定管理料除く）

(単位：千円)

項目	内容等	金額	
利用料金収入	小会議室	ア 335	
	中会議室	イ 875	
	工芸室	ウ 518	
	料理室	エ 158	
	和室(全)	オ 310	
	和室(1/2)	カ 108	
	体育室(1/3)	キ 619	
	体育室(2/3)	ク 162	
	体育室(全)	ケ 515	
小計		[A] 3,600	ア～ケ
自主事業収入	健康体操、パワーヨガ、卓球スクール、スマホ講座、将棋入門講座、書初め講座	コ 5,553	
		サ	
		シ	
		ス	
		セ	
	小計	[B] 5,553	コ～セ
雑入	印刷代	ソ 80	
	自動販売機手数料	タ 550	
	自動販売機電気料収入	チ 50	
	遊具売上	ツ 130	
	カラオケ利用料	テ 20	
	寄附金	ト 30	
	小計	[C] 860	ソ～ト

小計【ア】	施設運営収入計	10,013	[A]～[C]
-------	---------	--------	---------

※金額は、消費税及び地方消費税（10%）込みの額を記載してください。

単独団体名・共同事業体名	特定非営利活動法人つづき区民交流協会
施設名	横浜市仲町台地区センター

令和4年度収支予算書

2 支出の部内訳（ニーズ対応費除く）

（単位：千円）

項目	内 容 等	金 額	
人件費	正規雇用職員 給与、社会保険料	ア 8,785	
	臨時雇用職員 賃金、社会保険料	イ 12,385	
	対象外の人事費	ウ 290	ウ-1～ウ-4
	通勤手当 正規雇用職員、臨時雇用職員	ウ-1 199	
	健康診断費 正規雇用職員、臨時雇用職員	ウ-2 91	
	勤労者福祉共済掛金	ウ-3 0	
	退職給付引当金繰入額	ウ-4 0	
小計		[a] 21,460	ア～ウ
事務費	旅費 出張旅費	エ 20	
	消耗品費 消耗品費、コピーチャージ等	オ 760	
	会議賄い費	カ 3	
	印刷製本費 チラシ印刷、封筒印刷等	キ 30	
	通信費 電話代、切手代、郵送料、通信回線料等	ク 330	
	使用料及び賃借料	ケ 20	ケ-1～ケ-2
	横浜市への支払い分	ケ-1 0	
	その他 通信カラオケ利用料	ケ-2 20	
	備品購入費	コ 5	
	図書購入費	サ 0	
	施設賠償責任保険	シ 33	
	職員等研修費 普通救命講習等研修参加費	ス 10	
	振込手数料	セ 0	
	リース料 パソコンリース料、保守料	ソ 322	
	手数料 予約システム利用料等	タ 327	
	地域協力費 地域・学校等行事への協力	チ 20	
		ツ	
		テ	
小計		[b] 1,880	エ～テ
自主事業費	講師謝金、教材費、保険料等	[c] 5,553	
管理費 A	電気料金	ト 2,500	
	ガス料金	ナ 2,200	
	上下水道料金	ニ 800	
	小計	[d] 5,500	ト～ニ
管理費 B	清掃費 定期清掃、日常清掃	ヌ 2,947	
	修繕費	ネ 900	
	機械警備費	ノ 211	
	設備保全費	ハ 2,854	ハ-1～ハ-6
	空調衛生設備保守 冷暖房機器・空調自動制御保守点検	ハ-1 1,507	
	消防設備保守 消防点検	ハ-2 93	
	電気設備保守 自家用電気工作物・エレベータ・自動ドア保守点検	ハ-3 1,043	
	害虫駆除清掃保守	ハ-4 31	
	駐車場設備保全費	ハ-5 0	
	その他保全費 設備総合巡回点検	ハ-6 180	
	共益費	ヒ 0	
		フ	
		ヘ	
小計		[e] 6,912	ヌ～ヘ
公租公課	事業所税 法人税、法人事業税、法人県民税、法人市民税	ホ 290	
	消費税	マ 2,090	
	印紙税	ミ 0	
	その他（ ）	ム 0	
	小計	[f] 2,380	ホ～ム
事務経費	本部分 労務・会計等含む協会全体必要経費を施設ごと配分	メ 5,963	
	当該施設分	モ 0	
	小計	[g] 5,963	メ～モ
小計 【ウ】		49,648	[a]～[g]

※金額は、消費税及び地方消費税（10%）込みの額を記載してください。

※公租公課欄には、仕入税額控除後の消費税及び地方消費税見込額、その他税額を記載してください。